



お子様の暦

※各種ご祈願受け付けます。

妊娠5か月

【安産祈願】

赤ちゃんがまだ母親のお腹にいるうちから、腹帯をしめて神社にお参りし安産を祈ります。妊娠5か月目の戌の日を選びますがこれは犬が安産であることにあやかっただけの事といわれています。

生後7日

【お七夜（しちや）と命名】

赤ちゃんが誕生して7日目の夜に名前をつけます。命名書を書き、神棚や床の間に飾りましょう。

生後1か月

【初宮参り】

生後男子は31日、女子は33日を過ぎてから神社へ初めてお参りし、無事誕生した事への感謝と今後の成長を祈ります。赤ちゃんにお祝い着を着せ、ご家族皆様でお参りしましょう。

生後100日

【お食い初め】

生後100日に赤ちゃんに初めて物を食べる真似をさせます。歯固め石を歯ぐきに当てて丈夫な歯が生えてくるように祈る風習もあります。子供が一生食べる物に困らぬように願いを込めましょう。

男5月5日

女3月3日

【初節句】

生まれて初めて迎える節句を初節句といいます。男子は5月5日に鯉のぼりや武者人形などを、女子は3月3日に雛人形を飾ります。

男女3歳

男子5歳

女子7歳

【七五三】

古く平安時代ごろから男女3歳、男子5歳、女子7歳と子供の成長にあわせてお祝いの儀式がありました。これが七五三の起源で、今日では11月15日を七五三の日として、今後も立派に成長するようにと神社へお参りします。

就職まで

【入学・卒業・就職】

子供が立派な社会人となるまでの学業、教育は一生の重大事です。試験の前には合格を祈り、入学した折には学業成就を祈りましょう。また卒業、就職に際しましても無事学校を卒業できた神恩に感謝しましょう。

20歳

【成人式】

古くから加冠（かかん）の儀、元服式（げんぷくしき）など、成人に達した事を祝う儀式が行われてきました。今では成人式がこれにあたり、大人としての自覚を持つ節目の年となります。

【一ノ宮さんと安産信仰】

当神社は、御祭神「下照姫（したてるひめ）」が出雲よりやってきて今の神社の建つ場所へ住居を構え、安産の指導をなさったという伝承から、古くより安産の神様として親しまれています。また、参道にある安産岩は削って飲むと安産であると信じられており、その御神徳は広く及んでいます。

【連絡先】 伯耆一ノ宮 倭文神社（しとりじんじゃ）

TEL：0858-32-1985 （9時30分～16時）

ホームページ：www.sidorijinja.com

